

記者会見質疑応答

日時 令和8年7月2日（火）午後16時から

場所 第2応接室

出席者 ○市 側：市長、木村副市長、総合政策部長、宮本期成会会長

○記者側：15社23名参加

発表内容 ・北海道日本ハムファイターズファーム施設候補地決定に伴う市長臨時記者会見の開催について

<案件について>

○苫小牧民報社

今回の結果を受けて敗因はどういったところにあるとお考えですか。

■市長

敗因というよりも、まず私どもが日本ハムファイターズさんに様々な提案をしてきた中身としては、我々の提案できるベストな提案ができたと思っております。

今日、記者発表で恵庭市さんのパースを見ましたが、まだ構想段階ということでしたけれども、恵庭市さんが非常に広大な土地を確保され、球場と様々な商業施設あるいは住居施設を含めた構想であり、あれはあれで素晴らしい内容じゃないかと思いましたので、我々の提案を上回る提案を恵庭市さんがされたと思っております。

○苫小牧民報社

先ほどの日本ハムファイターズの記者会見発表にも参加させていただきましたが、その中で、球団さんのほうが駅前再整備のところで難しい部分があったというようなニュアンスのことをおっしゃられていたのですが、駅前再整備と連動させた部分というのは、相手側はどのように受け止めていたか答えられたりしますか。

■市長

質疑応答の部分が配信では聞けなかったのですが、我々のファイターズ側に提案していたものは市内の数ヶ所ということは、これまで記者会見でも述べてきましたが、その中でもやはり苫小牧の候補地の中では、駅周辺をファイターズさんが注目されていたと思いますが、そこに関わって、この度王子製紙さんの多大なるご協力をいただいたことはまず申し上げていきたいと思ひますし、そのことに王子ホールディングスさんに対しまして心から敬意を表し感謝を申し上げたいと思ひます。

私有地ですから、いろいろなものが取得する場合には条件があったかと思ひます。

詳細はここで申し上げられませんが、おそらく交渉の過程の中でお話したことについて、ファイターズさんが言及されたものと思っております。

○苫小牧民報社

駅前再開発の関係で、計画がこの発表を受けて半年ぐらい延期すると以前からおっしゃられていたと思いますが、今回の結果を受けてこの半年をまたさらに前倒しするという考えはありますか。

■市長

この場で詳細は申し上げられませんが、駅前再開発の計画策定についてもすぐに着手していきたいと思っております。

○北海道新聞社

苫小牧民報社さんの質問の中でもお答えいただいた部分ですが、選ばれなかった要因につきまして恵庭さんは広大な土地を確保して、素晴らしいご提案をしていただいたとおっしゃられていましたが、土地の広さが結構大きな要因を占めるというお考えということでしょうか。

■市長

あくまでも絵を見た限りでの判断で詳細はわかりませんが、あれぐらいの球場と各施設には広大な面積が必要だと思いますので、そういったところも恵庭市さんが選ばれた理由かなと思っております。

○北海道新聞社

会見の質疑応答の中で、苫小牧市さんのほうで候補地の中におけるマイナスのインパクトというものがあり、それを最終的に拭い去ることができなかったとの言及があったのですが、マイナスのインパクトというものにお心当たりなどはございますか。

■市長

先ほど申し上げとおり質疑応答の部分はお聞きしておらず詳細がわからないので、コメントは控えたいと思います。

○北海道新聞社

今回苫小牧市さんの場合は広域で連携して取り組んできたことが特徴だったと思いますが、挨拶の中でも今後前向きに生かしていくとのお話がありましたが、何か継続していく具体的な考えがあればお聞かせください。

■市長

現段階で具体的なものはございませんが、胆振日高の広域での取り組み、期成会あるいは高校生の誘致する団体など、こういったところとの連携はこれからも何らかの形で生かしていきたいと思っております。

○北海道新聞社

非常に長い間の交渉に努められてきたと思いますが、よく議会でも難しい交渉になっているとおっしゃられておりましたが、交渉の過程の中で、市長の肌感覚として何かこういうところが難しいと今思い返して思い当たるところがあれば教えてください。

■市長

これは他の自治体もそうだったかもしれませんが、やはり土地の確保と公的な資金投入をどこまでできるのかということが大きかったのではないかと思っております。

その辺の協議を内部でも行っておりましたが、強いて言うならそういうところだと思います。

○北海道新聞社

先ほど苦民さんの質問の中で、王子のご協力をいただいていたとお話で私有地とおっしゃいましたが、これは私のほうの私ということですか。

■市長

はい、そうです。

○HTB

ファイターズスポーツ&エンターテイメントさんからいつどのような形で結果を知らされたのかお伺いしたいと思います。

■市長

11時のチームの公式発表で知りました。

○HTB

直接ファイターズさんから連絡をいただいたということはないということで間違いないでしょうか。

■市長

それについてはコメントを控えたいと思います。

○HTB

発表された直後の率直な思いをお伺いできればと思います。

■市長

ただ残念だという思いであります。

○朝日新聞社

ファイターズの記者会見を拝見していないのでわかりませんが、冒頭の説明ですと端的に言うと広さと政治力があつたから恵庭さんになったと読み取れるのですが、市長はどのように受け止められたのでしょうか。

それから 46 ヘクタールに対して苫小牧市は最大どれぐらいまでの用地が用意できたのか、あるいは準備があつたのかということが市民にはあまり出てこなかったデータだと思ひますので、最後にこれぐらいはお示ししていただきたい。

さらに応援する会の宮本会長にお伺いしますが、先ほどのご挨拶の中で受け入れ体制などが苫小牧市側は足りない部分があつたとのコメントがありましたが、私は逆に江別・恵庭も比較的公平に拝見した中で、苫小牧の熱気や熱意、あるいは先ほど市長も触れられておりました幅広い年代や広域で盛り上がるという意味では一番受け入れ体制として苫小牧が断然リードしていたと思うのですけれど、会長がお感じになつた苫小牧の足りない点というのは何だったのかもう少し詳しく教えてください。

■市長

政治的なものはよくわかりません。土地の確保につきましては報道ベースでも出ておりましたが、我々も 10 ヘクタール以上は必要だと思つておりましたのでそれぐらいの土地は確保して交渉に臨んでおりました。

恵庭市の今日の絵を見る限り、それ以上はやはりあるように見えますけれども、その辺の拡張性もあつたのではないかと推測されます。

■宮本期成会長

私への質問でございますけれども、インフラ面や受け入れ体制などの課題というところのご質問だと思いますが、これはもう単純にインフラはインフラであります。

あと単純に我々が受け入れる中において劣るところがあつたのかなと、他の恵庭さんや江別さんと比べて、特に決まつた恵庭さんと比べてそのところで劣るところがあつたのかなという疑問をこれから検証したいという意味でお話をさせていただきました。

○朝日新聞社

先ほど苫小牧市の持っているマイナスイメージの話も出ましたが、市長が 1 年ほど前に

挑戦の表明をされたときに、IR 事業も並行して進めていくというようなことをおっしゃられており、全く問題ないと自信を持って市長お答えになっていた記憶があるのですが、この IR 問題がどちらかという、若手選手の育成だとかあるいは青少年の健全育成が底流にあるプロスポーツの施設誘致に悪影響を及ぼしたというご認識はないでしょうか。

■市長

そういう認識はありません。

○STV

先ほど HTB さんの中でも出ていましたが、どんな形で何時頃に今回の決定をご存知だったか、配信の前に誘致に関する決定先とか、何となく気づいていたのかどうなのか、その辺りはいかがですか。

■市長

ファイターズさんの発表で知りました。

○STV

ということであればやはり配信の中でも皆さんはドキドキしながらご覧になられていたと思いますが、市長としてそのあたりをどんな思いで見えていたのか改めて教えてください。

■市長

今回の誘致活動は胆振日高人口で言えば 40 万人以上の自治体の皆さんの期待を背負っているものでしたので、そういった期待に応える意味でもぜひ選んで欲しいという思いは発表のギリギリまで持っておりました。

○STV

今回、他の町との連携などを感じることができたという話がありましたが、今回の活動を通してまだ具体的なものは決まっていないということでしたけれども、今後どのような活動ができそうなのか、何か具体的なものがあればもう少し言える範囲で教えていただきたいです。

■市長

もう既に胆振日高と交通の部分であったり、医療の部分であったり、福祉の部分であったり、あるいは子どもに関わるものであったり、既に連携をしてきておりますので、そういったものをさらに強化していく意味でも、今回の取り組みというのは意義があったと思いますし、これから新たなチャレンジテーマが出てきたときも、そういった思いを共有しながら

進めていくことができるのではないか、そういった下地が改めてできたといいますか、再認識できたと思っております。

今具体的なものはまだ示せませんが、今後に向けてはいい取り組みだったと思っております。

○STV

市長として今回の市の取り組みとしてはベストな提案ができたとお話でしたが、今回スポーツ都市推進課が中心となっていたと思います。改めて頑張った職員に対するその評価を教えてください。

■市長

非常に時間がない中で精力的にファイターズさんとの交渉、あるいは関係者との交渉にそれまであった業務とは別に、このファイターズのチャレンジというのが出てきましたので、時間も労力も割いて良い提案をしていただけたところまでこぎつけていただきましたので、本当に感謝しております。

IR を含めこれからいろいろなチャレンジテーマが出てくるときに官民が連携して、あるいは広域で取り組むときの知見を積み重ねることができたと思いますので、そういった足跡をこの苫小牧あるいは胆振日高で残していただいたということについては非常に大きな結果を残していただいたと思っておりますので、これからも職員の皆さんと一緒に様々なことにチャレンジしていきたいと思っております。

○STV

市長から IR のお話がありましたが、現状 IR に関しては自治体としては苫小牧市さんが手を挙げている状況で、今後それをうまく進めていくためにも今回の経験を生かせそうな部分とか何かございますか。

■市長

担当部あるいは担当職員もそうですが、苫小牧だけではなく北海道全体の効果を見込んで進めていくべきものだと思っております。

最後は知事のご判断がなければできないと思っておりますが、そういった中で苫小牧としてどういったことができるのかと同時に、やはり近隣自治体が経済的な発展を望む声があれば後押しになっていくと思いますから、そのような意味で IR にしても今回の動きがまたプラスに繋がっていくようにしていきたいと思っております。

○建設新聞社

IR や再開発などいろいろ出てきたので再確認なのですが、今回日ハムは苫小牧が選ばれ

ず残念な結果に終わりましたが、IR や駅前再開発などまだ大型プロジェクトが市の中にたくさんあり、そこに向けてまた一歩ずつ進めていくことになるかと思いますが、改めて市長から力強い言葉があればと思っております。

■市長

今回の誘致活動を通じまして期成会の皆さん、あるいは自分たちの将来を考えた高校生の行動力、あるいは私どもの職員の力が改めてあると感じましたし、今後のチャレンジテーマをチャレンジしていける十二分な力が苫小牧市、あるいは苫小牧市の関係団体にも、そして胆振日高にもあることを感じましたので、私も今後先頭に立って、この苫小牧、あるいは胆振日高の発展のために全力で取り組んでいきたいと思っております。

○建設新聞社

苫小牧民報さんの質問回答として駅前再開発についてはすぐに着手していきたいというようなお言葉があったと思いますが、すぐに着手するというのが具体的に何に着手するという意味なのか伺います。

■市長

当初の予定は 8 月に基本計画が出来上がっているスケジュールでしたので、それがファイターズ 2 軍施設の誘致に関わって先延ばしすることにしていましたから、それを元に戻す形で駅前再開発の計画策定に取り組んでいきたいと思っております。

○建設新聞社

そうすると計画策定を当初の予定通り8月を目指すという捉え方で間違いないでしょうか。

■市長

この場では詳細まで申し上げる段階にありませんが、できるだけ早く着手していきたいと思っております。

○建設新聞社

今回苫小牧は選ばれないという形になりましたが、その後日ハム側のほうから今回はご縁がなかったのですが、苫小牧市さんと一緒にこういう部分で連携していきたいなど、何かそういったお話はありましたでしょうか。

■市長

詳細はお示しできませんが、かねてより報道ベースでもファイターズさんに選ばれなか

った街にも何かしらをしていきたいとおっしゃられておりましたので、私どももここで終わりではなくこれからもファイターズを応援していきますし、市民の皆さんあるいは胆振日高の皆さんにも、ファイターズをこれからもずっと応援し続けてほしいということも申し上げていきたいし、ファイターズさんと一緒に良いまちづくりをやっていけたらと考えております。

○HBC

日ハムさんが拭いきれなかったマイナスのインパクトという表現をされており、会見でもその詳細は明らかにしなかったものの、やはり距離の遠さが総合的な判断の中で一つの要素であることは言及しておりました。距離が遠いという努力ではどうにもならないところが最終的な要素の一つとなったことに対して、市長としてどう受け止めているか教えてください。

■市長

元々エスコンフィールドとの距離感は苫小牧市が最後に残った3市の中では一番遠いということは私もわかっているところでございますが、例えば中央インターチェンジから市街地への距離などのアクセスを考えますと、高速を使って移動していただければそんなに遜色なくエスコンフィールドからも移動できるのではないかと、あるいはJRについてはもう少し利便性の向上は求め続けておりますけれども、それ以外のバスなども含めて距離を何とかカバーできるような提案はさせていただいておりますけれども、それも含めて評価いただいた結果だと思います。

○HBC

日ハムの2軍本拠地が来るかもしれないというまちづくり、都市計画、将来のいろいろなビジョンということだったと思いますが、これからはそれが無い中での進め方になってくると思いますが、改めて日ハムが来ないということが決まった中でどのように今後進めていくのか、市長の大きな市政の方針になってくるのですが最後お聞かせ願います。

■市長

私が市長に就任する前の前岩倉市長の時代から、駅前の再開発は苫小牧市の大きなテーマの一つでありましたし、その道筋をある程度つけて引退されたのが前市長であり、私はそれを引き継ぐ形で駅前再開発というのは元々取り組んでいくことを公約でもうたっておりました。

そこに新たにファイターズさんが街に来ていただければということで誘致活動を行っていたわけですが、それが来ないとなれば元に戻る形でありますけれども、これから様々な検討を行って駅前の賑わい創出をどうするかいろいろと考えていきたいと思っております。

○紙の街の小さな新聞社ひらく

これまで交渉してきた内容についてやはり市民の税金や市民の財産である市有地も含まれていた検討だと思うので公表できる範囲で、候補地はどこだったのかということと、市として上限の財政出動をどのくらいに設定していたのかという部分と、優遇策はどういった内容を提案されていたのかという部分を公表できる範囲でしていただければと思います。

■市長

市内候補地は駅周辺も含めて6ヶ所です。東西に長い街ですので、6ヶ所ほど協議の中に入れておりました。

ファイターズ側に我々が示していた恒久的な投資額としては100億を提示しておりました。

○紙の街の小さな新聞社ひらく

それは優遇策も含めた提示になるのでしょうか。

■市長

詳細は申し上げられませんが、100億と考えていただければと思います。

○紙の街の小さな新聞社ひらく

6ヶ所ということですが、王子さんの関係もあるので言えない部分もあるかもしれませんが市有地、私有地ではない市有地はどこを提案されていたのかお聞かせいただければと思います。

■市長

部長から苫小牧市が所有している土地についてお願いします。

■総合政策部長

市で持っている土地の中で、沼ノ端のウトナイのほうと東インターチェンジの近く2ヶ所を候補地としてはお示ししておりました。

○紙の街の小さな新聞社ひらく

西部地域ではなく中心部と東側で6ヶ所という理解でいいですか。

■総合政策部長

西地区のほうにも土地はありますが、どうですかということでファイターズさんにはお話しした経過がありますが、なかなかやはり興味は示していただけなかったです。

○紙の街の小さな新聞社ひらく

6 ヶ所の中で一番ファイターズさんに提案して手応えがあったと思うのが駅周辺の南口でしょうか、北口でしょうか。

■市長

駅周辺です。

○紙の街の小さな新聞社ひらく

今回交渉内容を通じて、苫小牧市議会でもたくさん話題になっていたのが、候補地がどこかということと、市民の税金がどのくらいまで使用されるのかということがわからない中で、なかなか交渉の進捗が見えないという部分での市議会の皆さんの懸念の声が上がる一方で、誘致を応援する声と同時に出ていたと認識しているのですが、こういった交渉の進め方のスキームについて今振り返られて市長はどのような課題などお考えになっていますでしょうか。

■市長

市議会だけではなく、応援をいただいた期成会の皆様に対しても同じなのですが、関係する方々にお渡しできる情報が非常に少なかったというのは、我々も大変申し訳なく思っております。

税金を支出する場合は、必ず議会に諮らなければいけませんので、今言われたようなことを思っている議員さんは少なくなかったと私も議員出身ですので、それは非常に理解しておりますが、ただそれは本当にやむを得なかったと思っております。

○読売新聞社

まず宮本会長にお聞きしますが、去年の夏に期成会を立ち上げて署名活動を始めて、そのときに出遅れからの巻き返しだというようなお話があったと思いますが、やはり最初の遅れが響いたというようなことなのか、それで出遅れ感というのは市長もですが、民間のそういった活動だけでなく行政のほうも出遅れ感というか先頭を切っている感じじゃないみたいな、その辺はどんな感じで当時思っていたのか教えてください。

■宮本期成会会長

恵庭市さん江別市さんと比べて約2ヶ月遅れてスタートしたことは事実であります。

その中でどれだけ巻き返しができるのかといろいろ我々も考えて、それで周辺の1市4町からスタートして、胆振日高に応援をしていただくようになりました。

そういう点ではスピード感を持って追いつけ追い越せという気持ちで我々期成会はいろいろなアクションを起こしてきましたけれどもうまくいったと思っております。

そういう点では測ることはできませんが、自分では苦小牧は結構いいところを戦えてきたかなと思っております。

最終的には何で決まったかということは、これは球団の人しかわからないことでそれは多分公表されないと思いますので、何とも申し上げられませんが機運醸成の部分ではいい戦いはできたと理解をしております。

■市長

出遅れ感には私が表明した時期も含めて、他の町よりも遅かったのは事実なのでそれは私も感じておりますが、先ほどの期成会の皆様の動き、あるいは職員の動きを見ましてもかなり追いつける形でいい動き、いい提案ができるまで頑張っていたのだと思っておりますので感謝をしております。

○読売新聞社

100億円を行政のほうから条件提示したということですが、今日の日ハムさんの会見では、開業が30年から31年ということでしたが、100億円はそこまでの間にということですか。

■市長

先ほど支援するようなことも、どうなんだというご質問もありましたけれど、100億と考えていただければと思います。

○読売新聞社

当然、単年ではなくて。

■市長

単年ではないです。

○読売新聞社

この間、日ハムさんとの厳しいやり取りがあったと思いますが、それをやる中で行政のペースや進め方、文化等、北広島の地でいろんな業種、業界の人と組んでバリバリやられている日ハムさん等の進め方やスピード感、文化について違いというか、違和感や、やり方の食い違いというか、そういったところを踏まえて何か行政として改善とか足りないとか、そういった部分について何か思うところがありますか。

■市長

ファイターズさんの交渉のスピード感だとか、我々も初めてのところもありましたので、最初は違和感がございましたが、担当職員さんが一生懸命交渉を続けてくれたらと思ってお

ります。本当に大変な交渉が続いたと思いますけれども、温度差みたいなものも粘り強く続けていただくことで合わせていくことができたと思っております。

○読売新聞社

先ほどのやり取りの中で駅前再開発の延期について半年遅らせたことについて前倒しを検討したいという話なのか元に戻すということですか。

■市長

当初は今年の8月には計画の策定を終えているスケジュールでしたが、ファイターズの2軍がどうなるかという警戒感から延期しておりましたので、今回の決定を受けて、また駅前の再整備の計画策定に着手したいということです。

○読売新聞社

元のスケジュールでやるということですか。

■市長

元のスケジュールと言っても来月の計画策定になりますから、今この時点でそこに合わせられるかどうかは詳しくは申し上げられませんが、とにかく今後駅前再整備に向けて改めて協議に入りたいと思っております。

○北海道新聞社

先ほどから6ヶ所の候補地で最終的に100億を提示したということですが、これがいわゆる最終案として示したということになるのでしょうか。

この最終案を示した上で、日ハム側からどのような要求や要望があったのか。また、今回の場合、日ハムが3市を見て情報とかも含めて判断をしやすいような形でおこなったと思いますが3市が比べられながらの交渉の中で、やりにくかった部分などあれば伺いたいです。

■市長

まず3市と言っても他の2市の交渉内容というのは我々も全く情報が、交渉のプロセスの中でもなかったものですから報道ベースで出たものを参考にしている程度でありました。

交渉の中での場所ですが、市内6ヶ所を提示させていただいた中でも最終的にはファイターズさんが一番苦小牧市の中で注目されていたのは、駅周辺だと思っております。

○北海道新聞社

それを示した上で、6月上旬に最終的に球団側と交渉する機会があったと思いますが、そ

の際にどういう要望があったのかわかれば教えてください。

■市長

継続的な協議の中で場所も含めていろいろな協議検討はさせていただいておりました。

具体的には申し上げられませんが、球団側からお話があったメインスタジアム、サブスタジアムあるいは室内練習場、その他の施設等々を建てるという中身の提案は我々もさせていただいておりました。

○北海道新聞社

向こうから提案をした上で何か最終的にコメントとかはあったのでしょうか。

■市長

それを受けて最終的に結論を出したいということは伺っておりました。

○北海道新聞社

今回なかなか交渉内容については答えられない部分も多かったと思いますが、ファイターズ側と秘密保持契約を結んで交渉を行っていたのでしょうか。

■市長

そのようなことは特に結んではおりませんが、当然のごとく紳士協定的に情報管理はしっかりしながらお互いに協議を進めていると認識しております。

○北海道新聞社

これまでも議会の中で交渉中なので話せないというところが多かったと思いますが、今後また議会や違う形で情報の公開を求められると思いますが、市としてどの程度公表していく考えなのか伺います。

■市長

これまでもそうでしたけれども、ファイターズさんも含めて利害関係者の中で、交渉を続けてきておりますが、決定をくだされたばかりで我々も詳細についてファイターズさんがどのような質疑応答の中で発信されたのかも把握できていないので、そのあたりを検証していく中で出せる情報、出せない情報の判断がされるのではないかと考えております。

○朝日新聞社

去年の4月の時の資料をもう一度読み返していたのですが、かなり自信を持って誘致ありきみたいに読めるというような質問を私がしたと思いますが、今まで10数回の交渉の中

で市としてやるべきことはやったという表現もあったのですが、市長ご自身どの程度手応えを感じておられたのか。

今日の日本ハムの小林さんのコメントをそのまま読みますと、恵庭の候補地については広さや立地という大きな魅力がある一方で課題もございました。検討の中で最もハードルの高い候補地でしたと述べられておりましたが、ということは恵庭は最有力候補ではなかったと私は理解したのですが、そうすると担当者の欲目としては一番は苫小牧ではなかったのか。

出遅れ感はありませんでしたが、どこかで応援する会の皆さん中心に機運を盛り上げて追いつけ追い越してと、しかし最後は身も蓋もないというか、用地の広さの話と政治力の話をされるとどうしようもないですが、どこかでひっくり返ったという意味があるのですけど、市長とすれば10数回の交渉を終えられた後の印象としては、苫小牧市に来るという確信はどの程度お持ちだったのでしょうか。

先ほど残念で残念でということがあったのですが、その前に交渉のベストを尽くしたし、それから感触も良かったのに選ばれなくて残念だというのならわかりますが、どの程度の期待感とか達成感をお持ちで昨日までおられたのか伺います。

■市長

先ほど申し上げましたとおり、我々としてできるベストの提案をさせていただいたと思っておりますが、ファイターズさんがどの程度他市と比べて評価をしているのか、どこが一番評価されているのか最後の交渉に至るまで我々としてはわからないところでありますので、今日の質疑応答も含めてどうだったのか私は存じ上げませんが、先ほど言われた小林副本部長のコメントでいけば、最終的に恵庭が3市の中で一番いい提案だと評価されたのだと思っております。

○朝日新聞社

今日最初に情報を知らされたときにやっぱりと思われたのか、意外・おかしいなと思われたのかどちらでしょうか。

■市長

どちらでもなく、これが結果なんだと受けとめて残念だと思いました。

○北海道新聞社

1年ぐらい前からこの辺は津波注意報とか津波警報が出たりするのですが、そういった災害のリスクがこの交渉の過程の中で話題に出たり、向こうが懸念されたりだとかということがあったのでしょうか。

■市長

詳細は申し上げられませが あったと思います。ただ、私としては逆に有事の際に例えば建設したスタジアムが市民の皆さんが避難をする場所になる、防災備蓄をそういったところに備えて何かのときに市民の皆さんも避難できるような環境としてスタジアムがある、あるいはその他の施設があるということになれば、逆にもっとまちづくり、あるいは市民の皆さんにとって必要な施設でありファイターズそのものがより違った形で市民に愛されるようなことになると思っておりましたので、そういった視点でファイターズさんとも話をしております。

○北海道新聞社

今回選ばれなかった理由について我々もいろいろ聞いたのですが、逆にこれまでの交渉の過程の中でこういうところは他市よりも先行していると思えるようなことがあったのか教えてください。

■市長

これはあくまでも私が考えていることですが、人口でいっても多いのが苫小牧ですし、広域での誘致でいけば胆振日高で 40 万人を超える人口がおりますので、そういった 18 自治体が集まって一つになって誘致をしていたということであれば、広域のお力も一つの魅力だったと思いますし、苫小牧単体で考えても非常に企業が多い街でありますので、そういったところもアピールポイントだと思います。

恵庭・江別さんと比べたときに最も違うのが、海がある港があることだと思っておりまして、以前にも申し上げましたが、例えば同じイースタンファーム東地区のリーグでいきますと楽天さんは仙台塩釜港から苫小牧フェリーが出ておりますし、新潟アルビレックスは新潟港秋田港経由でございますけど、苫小牧フェリーで行けますのでそういったファンが車に乗ってフェリーを使い、苫小牧港に来て試合を観戦し観光して帰るというような新しいファイターズ圏域の広がりというものも私は見込めるのではないかと思います提案をさせていただいておりました。